

平成25年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年4月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 エスプール  
 コード番号 2471 URL <http://www.spool.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部担当  
 四半期報告書提出予定日 平成25年4月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 浦上 壮平  
 (氏名) 佐藤 英朗

TEL 03-3517-6633

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第1四半期の連結業績(平成24年12月1日～平成25年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第1四半期	1,212	△3.2	1	23.5	△1	—	△3	—
24年11月期第1四半期	1,252	△18.4	1	—	△1	—	△4	—

(注)包括利益 25年11月期第1四半期 △2百万円 (—%) 24年11月期第1四半期 △4百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第1四半期	△1.19	—
24年11月期第1四半期	△1.82	—

(注)当社は、平成24年11月30日現在の株主に対し平成24年12月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をしております。なお、平成24年11月期第1四半期の1株当たり四半期純利益は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年11月期第1四半期	1,235	140	11.3
24年11月期	1,291	143	11.0

(参考)自己資本 25年11月期第1四半期 139百万円 24年11月期 142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年11月期	—	—	—	—	—
25年11月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成24年11月30日現在の株主に対し平成24年12月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をしております。

3. 平成25年11月期の連結業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,547	△0.1	29	25.1	22	30.8	15	179.9	6.09
通期	5,262	6.5	80	65.8	66	124.8	50	—	19.47

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は、平成24年11月30日現在の株主に対し平成24年12月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をしております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)：無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
  - ② ①以外の会計方針の変更：無
  - ③ 会計上の見積りの変更：有
  - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年11月期1Q	2,583,400 株	24年11月期	2,583,400 株
② 期末自己株式数	25年11月期1Q	— 株	24年11月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年11月期1Q	2,583,400 株	24年11月期1Q	2,583,400 株

(注)当社は、平成24年11月30日現在の株主に対し平成24年12月1日付をもって、普通株式1株につき100株の割合で株式分割をしております。なお、平成24年11月期の期末発行済株式数及び平成24年11月期第1四半期の期中平均株式数は当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、四半期決算補足説明資料につきましては、本日(平成25年4月5日)、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	5
3. 四半期連結財務諸表 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、新政権発足後の円高修正の流れや、デフレ脱却に向けた様々な経済政策が打ち出されたことにより、企業マインドが大きく改善しました。キプロスを始めとする欧州の債務危機継続によるユーロ圏経済の低迷等の懸念事項は依然として存在しておりますが、国内景気は持ち直しの動きが続いております。雇用情勢についても、このような国内景気の緩やかな回復を背景に改善傾向にあり、総務省の調べによれば平成25年1月は3ヶ月ぶりに就業者数が増加に転じております。

このような環境の下、当社グループは、好調な人材派遣サービスの需要に対応するため、東京都内の採用拠点を従来の1拠点から4拠点到増やし採用力の強化に努めて参りました。しかし、採用市場における逼迫感は強く、稼働数増加には至りませんでした。一方、損益面においては、ビジネスソリューション事業及び人材ソリューション事業の両事業セグメントの売上総利益率が改善したため、積極的拡大のための人件費を中心とした販売費及び一般管理費の増加を補うことができました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,212,598千円（前年同四半期比3.2%減）、営業利益は1,440千円（前年同四半期比23.5%増）、経常損失は1,865千円（前年同四半期は1,106千円の経常損失）、四半期純損失は3,086千円（前年同四半期は4,698千円の四半期純損失）となりました。

平成25年11月期 第1四半期連結累計期間 連結業績

(単位：千円)	平成24年11月期 第1四半期	平成25年11月期 第1四半期	増減率
売上高	1,252,570	1,212,598	△3.2%
営業損益	1,166	1,440	23.5%
経常損益	△1,106	△1,865	－%
四半期純損益	△4,698	△3,086	－%

当第1四半期連結累計期間のセグメント業績（セグメント間内部取引消去前）は以下のとおりであります。

①ビジネスソリューション事業

株式会社エスプールにてロジスティクスアウトソーシング、キャンペーンアウトソーシング等のサービスを、また、株式会社エスプールプラス（旧株式会社わーくはびねす農園）にて障がい者雇用支援サービス及び付随する農園運営事業を提供しています。

当第1四半期連結累計期間においては、目立った新規案件や大型のスポット案件がなく、売上についてはほぼ前年同四半期並みに推移しました。一方、損益面においては、主力のロジスティクスアウトソーシングサービスやキャンペーンアウトソーシングの売上総利益率が生産性の向上や獲得率向上により改善したほか、障がい者雇用支援サービスにおいても農園の稼働率が向上し、利益率が改善しております。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は416,665千円（前年同四半期比2.9%減）、営業利益は23,357千円（前年同四半期比32.0%増）となりました。

②人材ソリューション事業

株式会社エスプールヒューマンソリューションズにおいて、人材派遣、人材紹介等、人材に係わるサービスを提供しています。

当第1四半期連結累計期間においては、主力のコールセンター業務及び携帯電話販売業務の引き合いがともに好調に推移しました。これら旺盛な人材需要に応えるべく、東京都内の採用拠点を増設し、採用力の強化に努めて参りました。しかし、開設から間もないことから当第1四半期連結累計期間の稼働数増加までには至りませんでした。損益面においては、受注単価が比較的安定的に推移し、売上総利益率は改善しました。しかし、採用拠点増加に伴う人員増加や将来の業務拡大に備えた営業及び管理人員の積極採用により、人件費を中心に販売費及び一般管理費が増加しました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は829,265千円（前年同四半期比2.7%減）、営業利益は63,830千円（前年同四半期比6.3%減）となりました。

平成25年11月期 第1四半期連結累計期間 セグメント別業績

売上高（単位：千円）	平成24年11月期 第1四半期	平成25年11月期 第1四半期	増減率
報告セグメント	1,281,178	1,245,931	△2.8%
ビジネスソリューション事業	429,150	416,665	△2.9%
人材ソリューション事業	852,028	829,265	△2.7%
その他	6,339	—	—%
調整額	△34,946	△33,332	—%
合計	1,252,570	1,212,598	△3.2%

営業利益（単位：千円）	平成24年11月期 第1四半期	平成25年11月期 第1四半期	増減率
報告セグメント	85,822	87,188	1.6%
ビジネスソリューション事業	17,693	23,357	32.0%
人材ソリューション事業	68,129	63,830	△6.3%
その他	△3,507	—	—%
調整額	△81,148	△85,747	—%
合計	1,166	1,440	23.5%

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末から55,426千円減少(4.3%減)し、1,235,984千円となりました。当第1四半期連結累計期間においては、現金及び預金並びに売掛金の減少等により流動資産が77,336千円減少しましたが、一方で拠点開設に伴う有形固定資産の取得や敷金及び保証金の差し入れ等により固定資産が21,910千円増加しております。

②負債

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末から52,675千円減少(4.6%減)し、1,095,708千円となりました。当第1四半期連結累計期間においては、買掛金や未払費用の減少によって流動負債が78,861千円減少しました。一方、長期借入金の新規借入により固定負債は26,186千円増加しております。

③純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末から2,750千円減少(1.9%減)し、140,276千円となりました。これは、主に四半期純損失3,086千円を計上したためであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年1月10日に発表いたしました平成25年11月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想について、変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び連結子会社は、法人税の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年12月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	578,728	504,042
受取手形及び売掛金	524,359	505,724
商品	2,925	2,925
仕掛品	3,297	9,841
その他	83,113	91,970
貸倒引当金	△7,991	△7,408
流動資産合計	1,184,432	1,107,095
固定資産		
有形固定資産	29,135	39,058
無形固定資産	6,087	6,467
投資その他の資産		
その他	101,034	112,118
貸倒引当金	△29,278	△28,755
投資その他の資産合計	71,756	83,363
固定資産合計	106,978	128,889
資産合計	1,291,411	1,235,984
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	80,283	44,735
短期借入金	483,400	471,000
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	42,796	53,976
未払法人税等	11,631	3,068
未払費用	212,339	175,461
賞与引当金	6,117	15,288
その他	164,057	158,234
流動負債合計	1,040,626	961,764
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	87,758	113,944
固定負債合計	107,758	133,944
負債合計	1,148,384	1,095,708
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	150,000	150,000
利益剰余金	△7,455	△10,542
株主資本合計	142,544	139,457
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	336
その他の包括利益累計額合計	—	336
新株予約権	482	482
純資産合計	143,027	140,276
負債純資産合計	1,291,411	1,235,984



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
売上高	1,252,570	1,212,598
売上原価	977,725	916,005
売上総利益	274,845	296,592
販売費及び一般管理費	273,679	295,152
営業利益	1,166	1,440
営業外収益		
受取利息	61	43
持分法による投資利益	199	427
その他	2	31
営業外収益合計	263	502
営業外費用		
支払利息	2,028	3,503
社債利息	508	305
営業外費用合計	2,536	3,808
経常損失(△)	△1,106	△1,865
特別損失		
固定資産除却損	1,188	—
特別損失合計	1,188	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,294	△1,865
法人税、住民税及び事業税	2,403	1,876
法人税等調整額	—	△655
法人税等合計	2,403	1,220
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△4,698	△3,086
四半期純損失(△)	△4,698	△3,086

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年2月29日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△4,698	△3,086
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	336
その他の包括利益合計	—	336
四半期包括利益	△4,698	△2,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,698	△2,750
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年2月29日)

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	ビジネスソ リューション事 業	人材ソリュー ション事業	計			
売上高						
(1) 外部顧客への 売上高	419,989	826,241	1,246,231	6,339	—	1,252,570
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	9,160	25,786	34,946	—	△34,946	—
計	429,150	852,028	1,281,178	6,339	△34,946	1,252,570
セグメント利益又 は損失 (△)	17,693	68,129	85,822	△3,507	△81,148	1,166

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、モバイル・マーケティング事業であります。
2. セグメント利益の調整額△81,148千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△81,288千円及びセグメント間取引消去140千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	ビジネスソ リューション事 業	人材ソリュー ション事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	412,159	800,439	1,212,598	—	1,212,598
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,506	28,826	33,332	△33,332	—
計	416,665	829,265	1,245,931	△33,332	1,212,598
セグメント利益	23,357	63,830	87,188	△85,747	1,440

- (注) 1. セグメント利益の調整額△85,747千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△83,709千円及びセグメント間取引消去△2,037千円であります。全社費用は、当社の管理部門に係わる費用であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 前連結会計年度において「その他」の区分に含めていたモバイル・マーケティング事業は、前連結会計年度中にその事業を廃止しております。